簿記の基本原理③

損益計算書と貸借対照表のひな形

【重要性：B】

ＰＯＩＮＴ！

新しく勘定を学習したら、P/LとB/Sのひな形で確認しよう！

新しく勘定科目（かんじょうかもく）を学習したら、それが損益計算書（そんえきけいさんしょ）または貸借対照表（たいしゃくたいしょうひょう）のどこに記載されるかを確認して下さい。なお、勘定科目の記載順番は覚える必要はありません。

損益計算書

2031年4月1日から2032年3月31日まで

売上原価	×××	売上高	×××
発送費	×××	受取家賃	×××
給料	×××	受取地代	×××
法定福利費	×××	受取手数料	×××
広告宣伝費	×××	受取利息	×××
支払手数料	×××	雑益	×××
旅費交通費	×××	貸倒引当金戻入	×××
貸倒引当金繰入	×××	固定資産売却益	×××
貸倒損失	×××	償却債権取立益	×××
減価償却費	×××		
通信費	×××		
消耗品費	×××		
水道光熱費	×××		
支払家賃	×××		
支払地代	×××		
保険料	×××		
租税公課	×××		
修繕費	×××		
保管費	×××		
諸会費	×××		
雑費	×××		
支払利息	×××		
雑損	×××		
固定資産売却損	×××		
法人税、住民税及び事業税	×××		
当期純利益	×××		
	×××		×××

貸借対照表

2032年3月31日

現金		×××	支払手形	×××
小口現金		×××	買掛金	×××
当座預金		×××	電子記録債務	×××
普通預金		×××	前受金	×××
定期預金		×××	借入金	×××
受取手形	×××		手形借入金	×××
売掛金	×××		未払金	×××
クレジット売掛金	×××		未払配当金	×××
電子記録債権	×××		仮受金	×××
貸倒引当金	×××	×××	未払費用	×××
商品		×××	前受収益	×××
貯蔵品		×××	預り金	×××
貸付金		×××	未払消費税	×××
手形貸付金		×××	未払法人税等	×××
立替金		×××	資本金	×××
前払金		×××	利益準備金	×××
未収入金		×××	繰越利益剰余金	×××
仮払金		×××		
受取商品券		×××		
前払費用		×××		
未収収益		×××		
建物	×××			
備品	×××			
車両運搬具	×××			
減価償却累計額	×××	×××		
土地		×××		
差入保証金		×××		
		×××		×××

当期純利益の算定

【重要性：A】

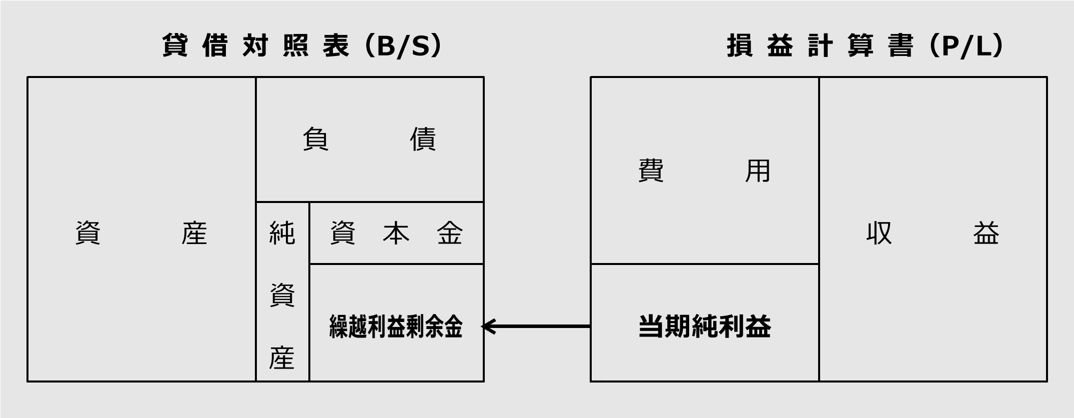
ＰＯＩＮＴ！

当期純利益の算定式を覚えよう！

　損益計算書では、収益から費用を差し引いて**利益**を算定します。その利益は当期の一年間で獲得した純額の利益ですので損益計算書において**当期純利益**として表示されます。

収益　－　費用　＝　当期純利益

　この当期純利益は、貸借対照表では**繰越利益剰余金**（純資産）として計上されます。詳しくは、後で学習します。



　なお、収益より費用が多い場合には、損益計算書において**当期純損失**として表示されます。

P/L・B/Sの作成

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

勘定残高（残高試算表）とP/L・B/Sの関係をマスターしよう！

（１）勘定残高からP/L・B/Sの作成

各勘定の残高をもとに損益計算書・貸借対照表を作成します。

仕　訳 →（転　記）→ **勘　定** → **P/L・B/S**

勘定から損益計算書・貸借対照表を作成する場合も転記と同様に行います。つまり、**借方残高**の勘定は損益計算書または貸借対照表の**借方**（左側）に記載し、**貸方残高**の勘定は損益計算書または貸借対照表の**貸方**（右側）に記載します。通常、資産・費用は借方残高に、負債・純資産・収益は貸方残高になります。

例題　**次の勘定に基づいて、損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。**

現　金

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
1	1	資本金	3,000	3	3	支払利息	300
2	2	借入金	2,000				
4	4	受取手数料	700				

借入金

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
				2	2	現金	2,000

資本金

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
				1	1	現金	3,000

受取手数料

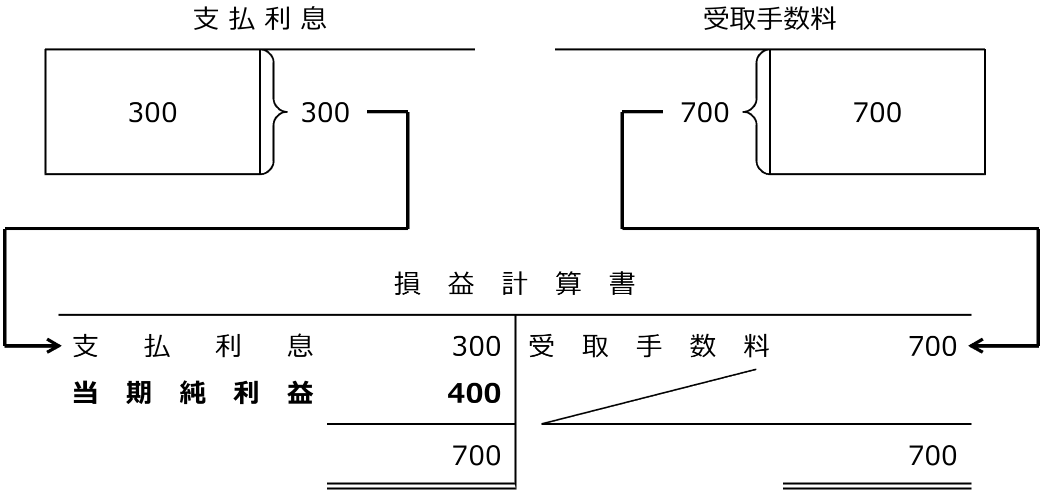
日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
				4	4	現金	700

支払利息

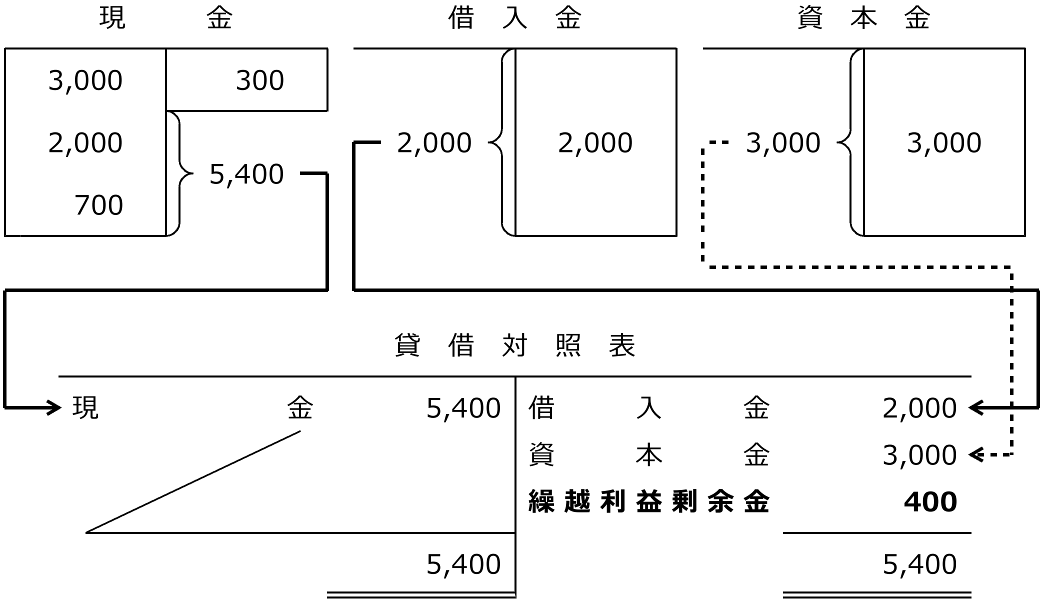
日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
3	3	現金	300				

各勘定の残高を算定し、収益・費用は損益計算書へ、資産・負債・純資産は貸借対照表へ記載します。イメージしやすいように各勘定残高と損益計算書・貸借対照表の関係を示すと、以下のようになります。

なお、損益計算書で算定した当期純利益は貸借対照表では**繰越利益剰余金（純資産）**として貸方に計上しますので、損益計算書を作成してから、貸借対照表を作成すると良いでしょう。



当期純利益は**収益－費用**で算定します。



（２）残高試算表からP/L・B/Sの作成

残高試算表をもとにして、損益計算書・貸借対照表を作成することもできます。

その作成方法は勘定残高の場合と同様に、**借方残高**の勘定は損益計算書または貸借対照表の**借方**（左側）に記載し、**貸方残高**の勘定は損益計算書または貸借対照表の**貸方**（右側）に記載します。

例題　**次の残高試算表に基づいて、損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。**

残　高　試　算　表

借　　方	勘　定　科　目	貸　　方
5,400	現　　　　金	
	借　　入　　金	2,000
	資　　本　　金	3,000
	受　取　手　数　料	700
300	支　払　利　息	
5,700		5,700

損　益　計　算　書

支　払　利　息	300	受　取　手　数　料	700
当　期　純　利　益	400		
	700		700

貸　借　対　照　表

現　　　　金	5,400	借　　入　　金	2,000
		資　　本　　金	3,000
		繰越利益剰余金	400
	5,400		5,400